

学生軟式野球部 春季都大会 & 関東大会 祝V優勝



7月28・29日に、群馬県太田市運動公園野球場にて、2008 関東 専門学校軟式野球大会が開催された。

関東大会出場にあたり、6月30日、東京都田スタジアムでの春季東京都大会決勝にて、「61」で華調理師専門学校を降し優勝したが、関東大会も同校との決勝戦になった。



当日の天候は曇りで、時折晴れ間ものぞいたが動き易い天候であった。準決勝、決勝と1日2試合のダブルヘッダーにも関わらず、選手達は声を掛け合い、勝利を目指し戦っている姿は輝いていた。

結果、決勝戦は「92」の5回コールドで当校が勝利し、春季東京都大会、関東大会の連覇を成し遂げた。

10月26日からは、富山県富山アルペンスタジアムでの、「第20回 全国専門学校軟式野球選手権大会」への出場が決定している。「全国制覇」という重いプレッシャーがあるが、選手それぞれ個性や技術を活かし、トヨタ東大らしいプレーをしてきて欲しい。



この個性や技術を活かし、トヨタ東大らしいプレーをしてきて欲しい。



自動車整備科2年 須永 恭介

春の都大会では新チームになり、バラバラの状態ですが、2年生が始まったのですが、2年生がチームを引っ張って勝ち進み、試合を重ねる度に一つにまとまり良い雰囲気です。決勝に臨みました。決勝でも自分達の野球が出来たので、その結果が優勝に繋がったと思います。関東大会は、夏休み中という事もあり練習が出来ませんでした。チームの状態は良く、楽しく野球が出来て優勝する事が出来ました。

全国大会は、強豪校ばかりだと思えますが、トヨタ東大の野球が出来れば勝てると思っています。



私がロードレースを始めたのは96年で26歳の時でした。

レースを始めたきっかけは大きなサーキットを大きなバイクで気持ち良く走ってみたいという思いからでした。

SP125クラスという入門クラスからスタートし、03年には改造範囲の広いGP125クラスにスイッチし、更に04年から現在のGP250クラスにスイッチ、06年には

自動車整備科2年 山下 大貴

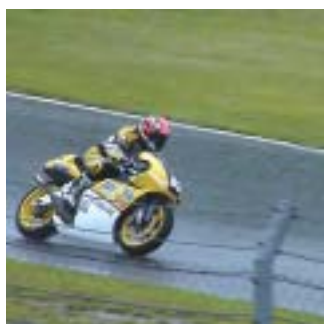
今回、富士スピードウェイ5時間耐久レースに参加しました。このコースは1周約5裏、ホームストレートは約2裏もあるロングコースでした。午前中のフリー走行では、タイヤがパンクしてしまいピットに戻り修理をしました。本番中にパンクしないことを願いつつ本番に挑みました。周回を重ねる毎にパンクの不安は解消され、そのままゴールできました。今回のレースではチーム一丸となり完走でき大きな達成感を得ました。



自転車部

末次先生 LAST RUN

国際ライセンスを取得しました。スタートの瞬間の緊張感は何度味わっても良いもので、走行スピードや駆け引きなど非日常的なことばかりです。レースの醍醐味は自分です。整備し、気持ち良く乗って結果が出た時だと思います。しかしレースは一人の力では出ないことを証明する為、頑張ることが出来るのだと思います。怪我やトラブルなど紆余曲折だったレース人生も8月の全日本選手権で一区切りをつけました。今まで自分を支えてくれた多くの方々には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。是非一度、皆さんも真剣勝負を見に行ってみてください。



あのパンはどこから? 食堂販売のおいしいパンを追跡

当校食堂売店で3月から販売しているあのおいしいと評判のパン。今回、このパンを作っている八王子美山学園を訪ねて来ました。学校から車で20分程の場所にある社会福祉法人の運営する知的障害者支援施設にパン工房があります。早番の人は朝4時30分から作業を開始し、7時



30分に出発する便で当校へ向かいます。訪問時も慣れた手つきで次々パンが作られていきます。「パンを作るのは楽しいです!」と笑顔で応えてくれました。このパンを当校で販売するには衛生管理面、配送時の保冷車購入などで事前準備に約1年。当校食堂の衛生管理の厳しさはその後の販売活動に大変役立つそうです。今回の訪問で強く印象に残ったのは、働く方々の落ち着いた動きでした。「おいしいパンをありがとうございます!」と言うと、「どんな新しいパンが食べたいか教えてください!」とみなさんへのメッセージを頂きました。

戦績	
'96年	仙台ハイランドレースウェイにてレースデビュー
'98年	仙台ハイランド選手権にて初優勝
'99年	仙台ハイランドシリーズ全戦ポール、全戦優勝でシリーズチャンピオン
'00年	SUGO、筑波選手権に参戦開始
'02年	SUGOにて初優勝
'03年	GP125にクラス変更 SUGOロードレース選手権シリーズ第2位となる
'04年	GP250にクラス変更
'06年	東日本チャレンジカップシリーズ第2位、国際ライセンス取得
'08年	全日本選手権第4戦SUGO参戦 引退

LETTER'S from 卒業生

輸入車ディーラーにて活躍され、サービス技術コンテストにて優勝された当校卒業生の方、2名をご紹介します。



平成13年卒(専門科29期) 遠藤 耕介さん

私は専門科29期で卒業し、千葉トヨタ自動車へ入社しました。入社当初はトヨタ店のエンジニアとして配属になりましたが、入社4年目に現在のD UO松戸店に異動になりました。

学生の時も入社してから作業する車のほとんどがトヨタ車だったため異動したばかりの頃は戸惑うこともありましたが、先輩方の指導のおかげで去年フォルクスワーゲンのコンテストに出場することができました。競技中の会場はとても静かで会社の方が見学している中で作業はとても緊張して、



BMW R2D1 アフターセールスコンテストメカニック部門優勝 平成13年卒(専門科29期) 植竹 良一さん

最後に在校生の皆さん、毎日勉強に大変かと思いますが常に向上心を持って自分の目標に向かって頑張ってください。本年5月4日に行われたBMW R2D1(東京エリア)メカニックコンテストにおきまして優勝いたしました。コンテストの内容は、車両を使用するトラブルシューティングを行う実技試験2回、学科試験3回でした。現在は来年行われるマイスター試験に向けて努力しています。



世界大会の開催は去年が第1回目ということもあり、何をやるのか分からない状態でしたが、46カ国の代表が集まり、実車・学科・単体・運転など全8競技で争いました。結果は3位以内に入ることが出来ずとも悔しく思いますが今の自分の力は出し切れたと思います。

手も震えてしまい上手く動けないところもありましたが、コンテスト前に訓練して頂いたことを活かし、運良く優勝することができ、世界大会への出場資格も得ることができました。

